

令和8年度 教科専門試験 高等学校・特別支援学校（公民）解答例

受験 校種	高・ 特	教科 科目	公 民	受 験 番 号						得 点	
----------	---------	----------	--------	------------------	--	--	--	--	--	--------	--

1 (各3点、問1は完全解)

問1	A	イ	B	ウ	C	ア
問2	ウ					
問3	イ					
問4	ウ					
問5	クオータ制					
問6	ア					
問7	ウ					
問8	ア					
問9	ア					
問10	エ					

令和8年度 教科専門試験 高等学校・特別支援学校（公民）解答例

受験 校種	高・ 特	教科 科目	公 民	受 験 番 号						得 点	
----------	---------	----------	--------	------------------	--	--	--	--	--	--------	--

2 (各3点)

問1	ウ
問2	アマルティア・セン
問3	イ
問4	ウ
問5	縁起の法
問6	エ
問7	エ
問8	マズロー
問9	ア
問10	イ

令和8年度 教科専門試験 高等学校（公民）解答例

受験校種	高	教科科目	公民	受験番号						得点	
------	---	------	----	------	--	--	--	--	--	----	--

3 (問1 : 各4点、問2 : 4点、問3 : 各6点、問4 : 10点)

問1	(1)	立憲主義
	(2)	ネガティブ・コンセンサス
	(3)	文民統制 (シビリアン・コントロール)
問2	ア	
問3	(1)	(解答例) 法の内容よりも法の形式
	(2)	(解答例) 供給側の生産コストの上昇
	(3)	(解答例) 法律で規定の枠組みだけを決めて、その内容の詳細は政令・省令・規則といった行政の命令
	(4)	(解答例) 幼稚産業に対する保護貿易政策が必要である
問4	(解答例) 1944年、国際的な通貨・金融制度を秩序づけるため、IMF (国際通貨基金) とIBRD (国際復興開発銀行) の創設に関する協定が締結された、国際貿易面のルールであるGATT体制とを合わせたものがブレトンウッズ体制である。この体制は、金との交換を保証したアメリカのドルを基軸通貨とする固定相場制であった。	

令和8年度 教科専門試験 高等学校（公民）解答例

受験校種	高	教科科目	公民	受験番号						得点	
------	---	------	----	------	--	--	--	--	--	----	--

4（問1：各4点、問2：4点（完全解）、問3：各5点、問4：10点）

問1	(1)	メタ認知			(2)	スンナ派（スンニ派）		
	(3)	主体的真理			(4)	ステレオタイプ		
問2	A	ア	B	ウ	C	イ		
問3	(1)	(解答例) 統治者階級が真の知恵を求める哲学者						
	(2)	(解答例) 自己の罪悪を自覚し、自力で善を行うことができず、阿弥陀仏の本願にすが しかない						
	(3)	(解答例) 快樂の量だけが問題なのではなく、質もまた重要であること						
	(4)	(解答例) 理性によって自分のなすべきことを知り、それを自分の意志で行うことにある						
問4	バド ミント ン部	(解答例) 部員数が多く、体育館の使用時間を増やさないと一人ひとりの技術を向上させる ことが難しい。部員の満足の総量を重視した判断をすると、バドミントン部が 体育館を多く使用できるように割り当てるべきである。						
	バス ケッ トボ ール 部	(解答例) 高い大会実績によって知名度が高まり、学校や地域に良い影響を与えている。学 校全体の満足の総量を重視した判断をすると、今後も多くの練習によって好成績を 維持するために、バスケットボール部が体育館を多く使用できるように割り当てる べきである。						

令和8年度 教科専門試験 高等学校・特別支援学校（公民）解答例

受験校種	高・特	教科科目	公民	受験番号						得点	
------	-----	------	----	------	--	--	--	--	--	----	--

5 (問1：各2点、問2：2点、問3：4点、問4：各15点)

問1	(A)	グローバル	(B)	民主
問2	イ			
問3	<p>(解答例)</p> <p>祭りなどの、地域で受け継がれている伝統行事に生徒が企画や準備の段階から関わっている場面を取り上げ、行事を継承することの意義について考察させ、公共的な空間の中で地域の発展のために自らが果たす役割を考察させる授業を実践する。</p>			
問4	(1)	(解答例)		
<p>3時間を配当して指導を行う。1時間目は、わが国の社会保障制度について、その制度が持つ意義や役割について指導する。2時間目は、わが国の財政の現状や少子高齢社会など、現代社会の特色を踏まえ、財政の持続可能性と関連付けて、今後の社会保障制度のあるべき姿について、海外での少子化対策に関する具体例などを踏まえながら、ワークシートを用いて考察させる。3時間目は、各生徒の学習用端末を活用して、社会保障制度に関わる受益と負担の均衡や、世代間の調和のとれた制度の在り方について、新聞記事やインターネットを使って調査させる。そのうえで、端末でレポートを作成させ、調査内容を踏まえた社会保障制度のさらなる改善について意見を述べさせるよう指導する。</p>				

